

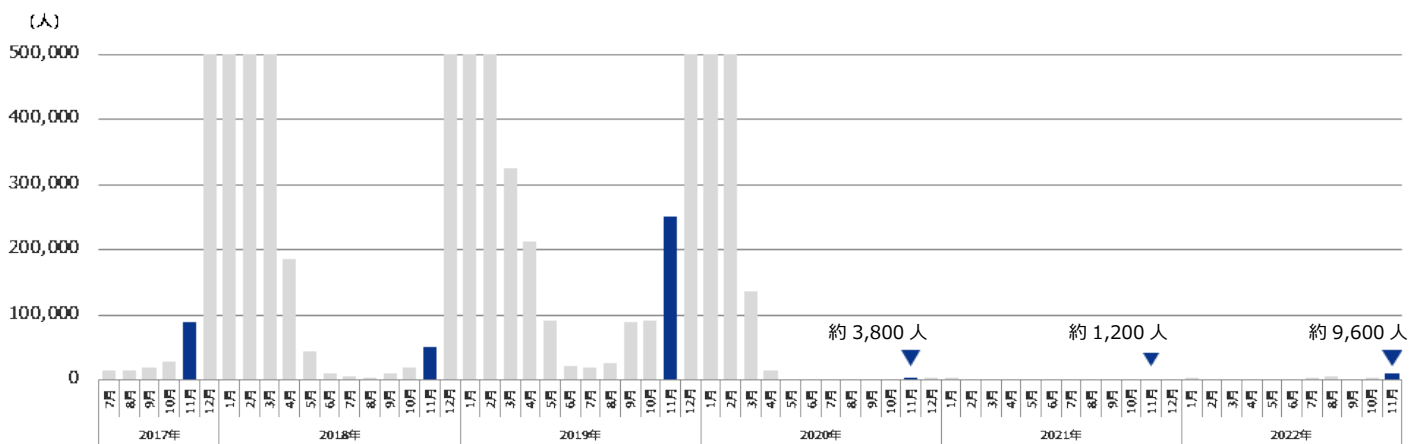
インフルエンザ流行入りはまだ先か 11月はコロナ前の15分の1の水準

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の 2022 年 11 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大がレセプトデータに与えた影響を調査・分析しました。

10 月に始まった新型コロナウイルスの新規感染者数の増加は 11 月に入ってもペースが落ちることなく続いています。同時流行が懸念されるインフルエンザも例年であれば患者が急速に増え始めるのが 11 月ですが、今年の動きはどうでしょうか。先月に続きインフルエンザの動向をインフルエンザ治療薬の処方状況を指標として追っていきます。

2022 年 11 月の経口インフルエンザ治療薬の推計患者数は約 9,600 人となり、10 月の約 2,800 人から 3 倍強に増加しました。コロナ前 2 シーズンの 11 月度平均患者数約 150,000 人(2018 年 11 月、2019 年 11 月)に対して 15 分の 1 以下と少ない状況は続いています。コロナ後 2 シーズンの 11 月度平均患者数約 2,500 人(2020 年 11 月、2021 年 11 月)に対して約 4 倍となります。流行というにはまだ早い数字ではありますが、過去 2 年と比較しても患者が多い状況となり、この傾向が続くのか注視していく必要がありそうです。

■インフルエンザ治療薬 推計処方患者数推移（2017 年 7 月以降）



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析

厚生労働省は12月16日に岩手県で1週間に報告されたインフルエンザ患者数が1医療機関当たり1.57人となり、流行の目安になる1人を超えたと発表いたしました(※)。全国では0.25人と1人を下回っておりますが、コロナ禍である直近2年間では多い水準となり、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行への警戒が呼びかけられています。

インフルエンザによる学級閉鎖も出てきており、今後の動向が気になるところです。

インテージリアルワールドでは今後も様々な感染症の動きを医療用医薬品の「処方」で捉え、発信して参ります。

※引用：インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023 シーズン <https://www.mhlw.go.jp/content/001024797.pdf>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテージリアルワールド 企画開発部 鹿島田

Eメール: pr-irw@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 13階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005年7月14日

資本金 : 1億8,825万円(株式会社インテージヘルスケア100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールドは、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020年7月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>